

本郷湯島地域にBーぐる走らせて!

私は、9月定例議会で、本郷・湯島地域に区内循環バスBーぐるの実現を求めて質問しました。

本郷・湯島地域は、病院も多く、歴史的建造物も多い地域です。しかし、地元住民は、これらの施設利用に困難を抱えています。それは交通の不便です。言問通りのバスの本数は極めて少なく、壱岐坂通りや蔵前橋通りにいたっては通常のバス路線さえありません。

通院・史跡巡りにバスを

こうしたなか、住民からは、「第3のルートは本郷・湯島地域に開設を」という要望が強く出されています。通院だけでなく史跡巡りの足としても便利です。台東区では来年、第4のルートが開設されます。

区長の答弁

これに対して区長は、「Bーぐる」の運行については、本郷、湯島地域以外にも、新路線の開設を含め、要望をいただいています。しかし、一方通行やバス通行に必要な道路復員を満たさない道路が多いことをはじめ、都営バス既存路線との重複が避けられないこと、バスの購入や乗務員の確保等に伴う更なる補助金の支出が必要になること、交通管理者等の関係機関との調



整等の課題や制約があると答弁しました。

また、コミュニティバス運営は、バス運行事業者のマイナス収支分を区の補助金により補填する方式であり、平成25年で第1、第2路線の合計が、約2,500万円、26年度については、2,900万円を支出しており、拡大傾向にあることなどの理由で、本郷、湯島地域への新路線の開設の快諾を得ることはできませんでした。引き続き、地域の皆さんと力を合わせて、実現のために頑張ります。

銭湯を失わない方策求める請願が採択

現在マンションの建て替えを計画している菊坂・菊水湯を核とした歴史、景観・文化について調査を始めてくださいという請願が総務区民委員会で、また、文京区からこれ以上銭湯を失わないための方策を求める請願が、厚生委員会で採択されました。画期的なこと



長年頑張ってこられた菊水湯が9月30日に閉じてから、本郷湯島地域からとうとう銭湯が一軒もなくなってしまうました。地域の方からも何とかならないかのご意見を、いただいています。災害時にも銭湯は、必要です。これ以上銭湯をなくさないよう区に、抜本的な対策を求めています。

日本共産党 文京区議会議員

関川けさ子のレポート

文京区本郷 1-27-8-802
Tel.3817-8985 区議団控室5803-1317

どんなことでも
お気軽にご相談ください

法律・生活相談

第1・3木曜日
午後3時～5時
小竹ひろ子事務所にて
☎ 3814-1076
事前に電話でご予約下さい。

「戦争法廃止の国民連合政府」の実現を 616億円の貯金は区民のために使え



代表質問する関川けさ子区議

9月定例議会で代表質問に立った関川けさ子区議は、国会で9月19日に強行採決された「安全保障関連法案」(戦争法)について区長の姿勢を問いました。

6月定例議会で、「安全法制案の廃案を求める請願」が、共産党、未来、市民の広場の賛成多数で採択されたことで、議長

名で「要望書」が、国会に提出されましたが、今回も区長は明確に態度を示しませんでした。

区の2014年度決算については、歳入全般では前年度に比べて7.2%増の、シビックセンター建設時に次ぐ過去4番目の761億円規模にも膨らみ、貯金の総額も613億円にも達していました。

それにも関わらず区は、幼稚園・育成室の保育料、自転車駐輪場使用料、学校給食費の値上げ、寝たきり高齢者大掃除サービスの廃止、さらに、戸籍住民課証明発行業務の民営化など区民犠牲と区民サービス削減を押し付ける「行革」を進める一方、

「春日後楽園駅前再開発」やシビックセンター改修費には、多額の税金が投入される問題を取り上げ、逆立ち区政を批判しました。

幼稚園・育成室保育料等の値上中止を

そのうえで、関川けさ子区議は、幼稚園・育成室の保育料の引き下げ、認可保育園や特養ホームの増設、老朽化した小中学校改修計画の前倒し実施を求めました。

また、青年の雇用相談窓口の設置、中小企業への融資斡旋事業の拡充なども求めました。



会のみなさんと区に申し入れる

元町公園・旧元町小の保全・活用 住民参加型プロポーザルに

有識者会議で検討していた元町公園・旧元町小学校の保全・活用に関する提言が公表されました。区は年内に事業者プロポーザルの検討、年明けに公募の予定です。

プロポーザル募集にあたっては、7月に「元町公園・元町小学校を考える会」の方々が区に

申し入れたように、①丁寧な住民参加により余裕をもったスケジュールとすること。②プロポーザル実施にあたっては情報を迅速に開示すること。③広範な住民が参加する住民参加型プロポーザルとすることなど、区民の声が生かされる保全活用になるよう本会議質問で求めました。



新宿区の例を調査

天神図書館は、周辺のラブホテルを規制するために1995年から湯島3丁目の民間マンションの一角を借り上げて開設、運営してきました。地域の方々にも近隣の勤労者にとっても、なくてはならない施設になっていました。

それにもかかわらず区は、建物の老朽化による取り崩しを理由に、一方的に閉鎖を決めてしまいました。本郷3丁目にある湯島図書館を充実発展させるというものでしたが、その後、どう発展させたのか、本会議で区長に質問し

ました。

また、「区立図書館サービス向上検討委員会報告書」では、天神図書館はビジネス関係書が多い特徴があり、予約、リクエストの受け取り場所としての利用も多く、利用実績が伸びていると評価されていたのに、区民の意見も聞かずに廃止したのか、代替地を確保し天神図書館を再開するよう求めました。

これに対して区は、天神図書館を再開する考えはないと言いきりました。今後、地域の方々にアンケートをお願いするなどして、再開にむけて頑張りたいと思います。

天神図書館は再開を



日本共産党文京区議団ニュース



第91号
2015年
秋号

ホームページ: <http://www.jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp/>
Eメール: mail@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp
☎5803-1317
区政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

日本共産党 都バス車庫跡地は区民のために活用を 緊急申し入れ 使用料 基金616億円でも区施設値上げ!! 決算委員会等 で中止要求

区政情報

東京電力に賠償求める

福島原発事故の放射能汚染で区は、空間線量や給食食材等の線量を定期的に測定した経費を東電から約650万円賠償金として受領。H24年度以降も東電に請求すべきと要求しました。

本腰で公的住宅対策を

シルバーピアは、単身で20人募集に168人、世帯では5世帯に27世帯が応募し、相変わらず狭き門です。高齢者、障がい者、低所得者に安くて良質な住宅が必要です。

シルバーピア入居を年齢など困窮度順にしても戸数が増えなければ要望に応えられません。住まいは人権です。区の責任で公的住宅を増やすべきです。

区施設等値上げ条例23件も 共産・市民は反対

9月議会に、区民施設の使用料などを来年度から引き上げる23件の条例が提案されました。「受益者負担」を口実に、光熱費や維持管理人件費の増加と消費増税等を値上げの理由とする区側に、日本共産党は616億円もの基金（貯金）があることを示し、値上げストップを求め論戦。しかし、未来(民主等)・自民・公明の賛成多数で可決されました。

3年前に続く一斉値上げで、年間8300万円の負担増、前回と比べても大幅値上げです。

区の説明には福祉や社会教育という考えが欠如しています。「税金の2重取りだ」「財政は豊かなのになぜ値上げ」「そんなに高くなれば使えない」との声があります。際限なく区民に押し付ける「受益者負担」をやめさせる必要があります。



また値上げの体育館使用料

区が 春日2 特養用地取得 国有地

特養ホーム増設（約100床）のため、懸案だった春日2丁目の旧建設省宿舍跡地（巻石通り沿い）は、区が約10億円で購入することで決着。今後は応募事業者が土地を借り受け、建物を建設し2018年4月開設予定です。

都バス車庫跡地に高齢者・児童施設を

茗荷谷駅近くの都バス大塚車庫跡地活用について、区は9月25日東京都に対し、「活用したい」との回答を表明しました。

日本共産党区議団は、3月末に閉鎖



申し入れ文書を副区長に渡す区議団 (左より、板倉区議、小竹都議、島元区議、1人おいて萬立、国府田、関川、金子、福手区議)

された後、子育て・高齢者・障害者の複合施設として活用できるよう都知事へ申し入れ、5月現地調査、6・9月議会での質問等で提案し、再度9月18日に区長申し入れを行いました。

区内全域からのアクセスも良く、7256㎡の広大な敷地は、区民の多様な要望に応えるためにも、福祉インフラ以外にも活用できるよう、引き続き要求していきます。

子どもたちによりよい施設を！

柳町小学校は改築を！

柳町小では児童増での増築をめぐり、「やなぎの森」を守れと運動が継続中です。築50年以上の校舎は老朽化が極めて激しく、私達は、一部増築ではなく全面改築とし、誠之小等と同様に改築構想検討委員会を立ち上げ、「森」を含めた改築構想の民主的協議を行ないすすめることを提案しています。

誠之小、明化小の改築問題

誠之小校舎は東京一古い築90年、明化小は築85年。誠之小は設計が始まる段階で、学校説明会が開催され、仮校舎で校庭が使えなくなることを巡って意見が相次ぎました。他所での仮設建設の再検討が必要です。明化小は関東大震災後の改築校舎で、文化財級との評価もある旧校舎の継承をすべきです。

民営化の保育園や育成室で問題が表面化

会社買収で経営者が交代となった認可園は保育士の大量退職で体制が整わず募集を休止。在園児は定員90名中38名。区は保育の質を確保するため、営利会社の保育園誘致は見直すべきです。

また育成室は、2年前指定管理者制度を導入した千石育成室で職員の大量退職、児童も相次ぎ退室した教訓に学び、今後増設する4室は区直営にすべきです。

待機児の受け皿「臨時保育所」開設

区は認可園の待機児対策のため、来年4月、礪川公園内に定員62名の「臨時保育所」を開設します。民間事業者の運営による認可外保育所で、耐震改修中の向丘保育園が使用している仮園舎を活用するものです。共産党は、ひき続き認可園増設へ全力で頑張ります。

区議会に変化が

「不採択」の請願が本会議で「採択」に

7件の請願が採択された6月議会に次いで、9月議会でも6件の請願が採択され、区議会はこれまでと違った様相になりました。

今議会では12件の請願のうち、共産党は10件の紹介議員となりました。請願を審議する各常任委員会では、採択1、不採択9、保留2。しかし、委員会でも不採択となった①特養ホームの増設②公衆浴場の確保2件③原発の再稼働中止④羽田離陸航空機の上空通過停止を求める請願は、本会議での起立採決で「採択」となりま

した。今期の議員構成により、本会議での採択では賛成多数で区民の声が通りやすくなりました。

共産党区議団が区民の要望を大切に聞き、紹介議員として粘り強く請願に向き合ってきたことが、こうして実を結び始めたといえます。



9月で廃業した菊水湯

危険なマイナンバー制度は中止を

十月からマイナンバーの「通知カード」が世帯毎に簡易書留で送付されます。国は、来年一月から税、社会保障、災害の三分野で利用を開始しますが、そればかりか預金口座など官民を問わず多くの個人情報をも一つの番号で管理しようとしています。

住民票を居



施設入所などで受け取れない「不達」は文京区で二五%と見込まれるなど制度の前提を揺るがす事態です。情報漏れいや、悪用されれば取り返しがつきません。甚大なプライバシー侵害、なりすましなど犯罪にもつながりかねません。総務省調査では八〇%の国民が懸念や不安を示しています。日本共産党は、制度を中止するとともに、個人番号カードがなくても行政手続きができることを周知するよう求めています。

場合や